# 平成24年度建設副産物実態調査 利用量・搬出先調査票入力システム

(H24センサス入力システム)

Ver. 2012. 8. 24

操作説明書

平成24年10月

国土交通省

# 目 次

0.	は	للال	に	•	•	•	•	• •	••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
1.	٥	的	•••	•	•	•	•	• •	••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3
2.	H	24	セン	ッサ	スズ	ኢ,	カシ	シフ	ステ	- レ	の	基	本	機	能	と	特	徴		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		З
	2.	1	主な	¢機	能		•	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		З
	2. 2	2	特徴	攵	•	•	•	• •	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		З
	2. (	3	動作	環	境		•	• •	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		4
4	2. 4	4	活用	う	□-	_		• •	••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		4
З.	操	乍广	ī法(	(操	作「	7	_ :	ק ב	թղ	))		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		6
	3 <b>.</b> <sup>.</sup>	1	Н2	24	セ:	ン	サフ	スフ	くた	シ	マ	テ	厶	ற	起	動		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		6
	3. 2	2	デー	-タ	登卸	渌		•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		7
	( •	1)	新規	證	録																										
	(	2)	登録	济	み	デ・	_,	50	D 変	更	•	削	除																		
	(;	3)	削防	Èデ	_/	פו	Dí	复テ	Ē																						
	()	4)	重複	ョデ	_,	- ୨(	ア= の=	F 1	ר עי ד	ヮヮ	سل ا	削	除																		
	3	۰ ۲	利用	計量	• ‡	船	+14	た罰	日本	三	ĒΕΠ		F, J .	•	•	•	•			•	•	•				•	•	•	•	1	9
	3 4	4	谷紀	₽⊤	" 事-		当う	も 表F	った		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	2
	ן. א ו	5	上に	山田	<u>-</u> - つ・	- - ק	イノ		口作	र यत्व ट	-	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•		•	•	•	•	•	2	4
	2 7. ø	2 6		」/」	. ر -رال	, י ז	、 、 、 ファ	で。 ポー	- ト	~ (	, 〔複	乏	ത	提	щ	⊞	7	ק	ィ	л,	な	結	슴	)						2	6
```	، ر ، ر	ן 1	ノア	 	ر ار ار ار	・・ イ・	>, <del>,</del>	い ポー	י – ר			.97	0)	JVE			/		1	10	4	۳U		/						~	U
	(	2)	イン	パポ	-	・. ト	てててた。	陸	1																						
4.	提	出用	リファ	ッイ	JLC	の材	構成	戓	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	9
5.	よ。	くあ	る問	<u></u> ]しい	合相	51	せ		•••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	0

<u>0. はじめに</u>

「平成24年度建設副産物実態調査利用量・搬出先調査票入力システム」(以下、 「H24センサス入力システム」という。)は、国土交通省が実施する「平成24年 度建設副産物実態調査」(以下、「H24センサス」という。)における「利用量・搬 出先調査票」の書類の作成のためのデータ登録等の機能を有するシステムとして、開 発しました。

H24センサスにおける「利用量・搬出先調査票」は、前回のH2Oセンサスと同様に調査項目を必要最低限に絞込み、簡略化した様式になっています。そのため、「再 生資源利用〔促進〕計画書(実施書)」、建設リサイクル法の「第11条通知様式」、「建 設リサイクルガイドライン様式」としては利用できません。これらの様式を作成に該 当する工事の場合、H24センサスに対応した「建設副産物情報交換システム」<sup>\*1</sup> (以下、「COBRIS」という。)や「建設リサイクルデータ統合システム」<sup>\*2</sup>(以

下、「CREDAS入力システム」という。)を用いて詳細データを作成してください。 これらのシステムを利用した場合は、「H24センサス入力システム」で改めて作 成・提出する必要はありません。同システムをご利用いただくことにより、H24センサスにおける「利用量・搬出先調査票」の報告データに代えることができます。

%1∶COBRIS

国土交通省が開発したWebオンラインシステム。

工事発注者、排出事業者、処理業者間で工事データ、施設データを情報交換することにより、建設 副産物にかかわる需要バランスの確保、適正処理の推進、リサイクルの向上を図ることができる。

また、「再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)」、「第11条通知様式」、「建設リサイクルガイドラ イン様式」のデータの電子入力を行うことができる。一般財団法人 日本建設情報総合センター (JACIC)で運用管理を行っている。

OCOBR | Sに関するホームページ(一般財団法人 日本建設情報総合センター)

http://www.recycle.jacic.or.jp/

上記ホームページアドレスは、平成24年10月1日現在のものです。

\*2:CREDAS TA

国土交通省が開発した電子入力システム。

「再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)」、「第11条通知様式」、「建設リサイクルガイドライン様 式」のデータの電子入力を行うことができます。

OCREDASのダウンロードに関するホームページ(国土交通省)

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/recycle/

上記ホームページアドレスは、平成24年10月1日現在のものです。

<u><データの互換性について></u>

平成20年度建設副産物実態調査に対応した「H20センサス入力システム」で作 成した提出用ファイルは、H24センサス入力システムでインポートすることができ ます。

しかし、前述のとおり、CREDAS入力システム等とデータ形式が異なることから、CREDAS入力システムで作成した提出用ファイルは、H24センサス入力システムではインポートすることができません。

<H24センサス入力システムの配布>

H24センサス入力システムは、国土交通省のリサイクルホームページ(URL: http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/recycle/)より、「利用量・搬出先調査票入力シス テム」を利用者が必要に応じて任意にダウンロードします。

また、本ソフトウェアおよびマニュアル等を複製、貸与による再配布を許可します が、無償配布を原則としておりますので、<u>商業用目的のための有償配布はしないでく</u> ださい。

#### <u>1. 目的</u>

H24センサス入力システムは、国土交通省が建設副産物対策を総合的に推進する ことを目的に実施するH24センサスにおける「利用量・搬出先調査票」の作成を電 算上で行うことによって、記入負担の軽減等を図るとともに、調査を効率的に行い、 速やかに建設リサイクルの進捗状況を把握することを目的にしています。

※H24センサス入力システムの著作権は、国土交通省に帰属します。

#### 2. H24センサス入力システムの基本機能と特徴

## <u>2.1 主な機能</u>

H24センサス入力システムは、建設副産物実態調査の「利用量・搬出先調査票」 の作成、提出のための調査項目の入力(入力部)、及び登録工事一覧表、提出用ファ イル等の出力(出力部)の一連の作業を機能化しています。

入力部	出力部
<ul> <li>・新規登録</li> <li>・登録データの変更・削除</li> <li>・削除データの復元</li> <li>・重複データのチェックと削除</li> <li>・ファイルインポート(複数ファイルの結合)</li> </ul>	・利用量・搬出先調査票印刷 ・登録工事ー覧表印刷 ・提出用ファイル作成

2.2 特徴

H24センサス入力システムの活用により、調査を効率的に行い、速やかに建設リ サイクルの推進状況を把握することができます。H24センサス入力システムの活用 によるメリットは、次のとおりです。

●記入者の負担の軽減

- ・H24センサス入力システムでは、入力したデータをH24センサスにおける利用量・搬出先調査票へ印刷する機能を備えていますので、作成負担を軽減できます。
- ・入力支援機能(リストからの選択による入力、数値の自動計算機能等)により、
   入力が容易になっています。

●データの精度の向上

- ・電算入力により、記入不備や、ミスを入力時点でチェックできるため、紙ベース の調査票にあった記入ミス等を少なくし、データの精度が向上します。
- ●発注者のチェック負担の軽減
  - ・入力時にデータのチェックがかかるため、発注者のチェック項目が少なくなり、 データチェックのための負担が軽減されます。

●電算データの活用

- ・電算データのため、紙に比べ管理・保管しやすくなります。
- ●調査期間の短縮、コスト縮減
  - ・電算化されたデータで提出することにより、電算データ化作業の削減、データチ ェックにかかる期間等が短縮され、調査費が節減されるとともに、早期の取りま とめが可能です。

## 2.3 動作環境

CPU/メモリ	お使いのOSが奨励する環境以上
「ディスプレイ(解像度)	1024×768 以上
(色数)	256 色以上
基本ソフトウェア	Windows98/Me
	Windows2000 Professional
	WindowsXP home/Professional
	WindowsVista Ultimate
	Business/Enterprise
	HomePremium/Home Basic
	Windows7 Ultimate/Professional/Enterprise/
	Home Premium/Home Basic

※Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国 Microsoft Corporationの米国 およびその他の国における登録商標です。

※その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、それぞれの各社の商標、登録商標、商品名です。

なお、本文中にはTM および(R)マークは明記していません。

2.4 活用フロー

H24センサス入力システムへの登録から、提出用ファイルの提出までの活用方法 は、次のとおりです。



H24センサス入力システムで作成したデータは、必ず「提出用ファイル」(LZ Hの圧縮ファイル)で提出してください。



## H24センサス入力システム 全体図

<u>3. 操作方法(「操作マニュアル」)</u>

3.1 H24センサス入力システムの起動

[スタート]メニューから、[スタート]→[プログラム]→[H24センサス入力システム]→[H24センサス入力システム]を選択してください(画面-1)。

H24センサス入力システムが起動します。



H24センサス入力システムを起動すると、次の「メニュー(初期画面)」が表示 されます(画面-2)。

初期画面							
平成24年度版 建設副産物実態調査 利用量・搬出先調査票入力システム Ver.2012.8.24							
データ登録(追加、変更、削除)	データの登録、変更、削除を行います。 また、登録した工事の利用量・搬出調査票の印刷ができます。						
利用量·搬出先調査票印刷	選択した工事の利用量・搬出先調査票を印刷します。						
登録工事一覧表印刷	選択した工事を一覧表で印刷します。						
提出用ファイル作成	提出用ファイルを作成します。						
ファイルインポート(ファイル取込み	データファイルを本システムに取り込みます。						
終了	本システムを終了します。						



## 3.2 データ登録

「メニュー(初期画面)」より、[データ登録(追加・変更・削除)]のボタンをクリックしてください。

次のデータ登録メニューが表示されます(画面-3)。



画面-3 データ登録メニュー

新規登録の入力の流れは、「工事概要」→「建設資材利用」→「建設副産物発生・ 搬出」→「登録作業の完了」となります。

「工事概要」の必須項目を入力しないと次の項目の入力ができません。

また、それぞれの入力画面の赤字となっている項目は入力が必須、青字となっている項目は入力不要となっています(自動計算により算出)。

また、入力画面下(画面-4)には、選択されている項目の入力方法に関するコメントが表示されますので、入力の参考としてください。

(1)新規登録

①工事概要の入力

データ登録メニューで[新規登録]を選択すると、新規の工事を登録するため、最初 に工事概要が表示されます(画面-4)。

調査項目の入力及び選択を行ってください。なお、入力方法に関するコメントは、 画面下部に表示されますので、それに従って入力してください。

工事概要の入力(<u>必須項目(赤字</u>))が完了しないと、[建設資材利用]、[建設副産物発生・搬出]を入力することができません。

※データを保存しないで終了する場合は、[登録キャンセル]をクリックしてください。



画面-4 工事概要の入力画面

<u>②建設資材利用の入力</u>

画面上の「建設資材利用」のタブを選択し、さらに入力する品目のタブを選択しま す。画面の内容にしたがって、項目の入力及び選択を行ってください(画面-5)。



画面-5 建設資材利用の入力画面

(例:建設発生土(第1種~第4種建設発生土、浚渫土以外の泥土)

画面左にある[▲▼]ボタンをクリックすると、入力行が移動し、「供給元別内訳」の 3箇所目以降について入力することができます(画面-5)。

入力行の再入力を行う場合、該当入力行右にある[クリア]ボタンをクリックすることで、該当入力行に入力さているデータをクリアすることができます(クリアした内容の復元はできませんので、注意ください)。

また、一旦入力した行が不要の場合、入力行の右にある[削除]チェックボックスに チェックを入れることで、該当入力行の削除を行うことができます。[削除]チェック ボックスにチェックのある入力行は、入力不可となり、登録完了時に完全に削除され ます(登録完了前に[削除]チェックボックスのチェックを外すことで、削除の取り消 しをすることができます)。

「供給元別内訳」の供給元別に入力が必要な品目は、土質改良土、建設発生土、浚 渫土、建設汚泥処理土、再生コンクリート砂のみです。それら以外の品目については 入力画面に沿って入力してください。 ③建設副産物発生・搬出の入力

画面上部の「建設副産物発生・搬出」のタブを選択し、さらに入力する品目のタブ を選択します。

画面の内容にしたがって、項目の入力及び選択を行ってください(画面-6)。

内容変更 工事ID 1 F 削除フラ: 工事概要 建設資	ジ (試材利用) 建設副産物発	建·搬出	設副産物発	生・搬出	<u>タヺ-タチェック</u> 品目タブ		
廃石雪ボード その他の分別され コンクリート塊 アスファルト・ユンガリート塊	1た廃棄物 混合状態の廃す 建設発生木材A 建設発生	<ul> <li>         • 建設廃棄物:         </li> <li>         木材B         </li> <li>         建設汚泥         </li> </ul>	合計 建設発生土 金属<ず 紙<ず	浅深土  廃プラスチック類	建設発生土合計 廃塩化ビニル管・維手		
①発生量 ①=②+③+④ 20500 (トン)	コンクリート 2現場内利用量 ( (トン)	鬼 ③現場内滅量化量	④現場外 搬出量合計 2.050.0 (ト	1/1 ン)			
搬出先場所(区市町 総出先場所(区市町	11日前又 384日 200 に	現場外線と 搬出先の種類	出量の内訳 ④現場外 服出量	740	フリアボタン		
▲ 脱出先2 神奈川県 横浜市 - 搬出先3 ■	18見区 選択 20 ku		() 000	ン) フリア フリア 一 前除 ン) クリア こ 高振			
1100000000000000000000000000000000000							
赤字:入力必須 春字:入力不可	利用量・搬出先調査票 プレビュー 前の登	利用量・搬出先調査 印刷(A4横) 録工事へ / 次の者	<b>査票 利用量・搬出</b> 印刷(A3 登録工事へ	先調査票 3横)	登録作業の完了		

画面-6 建設副産物搬出の入力画面(例:コンクリート塊)

画面左にある[▲▼]ボタンをクリックすると、入力行が移動し、搬出先の3箇所目 以降について入力することができます(画面-6)。

入力行の再入力を行う場合、該当入力行右にある[クリア]ボタンをクリックするこ とで、該当入力行に入力さているデータをクリアすることができます(クリアした内 容の復元はできませんので、ご注意ください)。

また、一旦入力した行が不要の場合、入力行の右にある[削除]チェックボックスに チェックを入れることで、該当入力行の削除を行うことができます。[削除]チェック ボックスにチェックのある入力行は、入力不可となり、登録完了時に完全に削除され ます(登録完了前に[削除]チェックボックスのチェックを外すことで、削除の取り消 しをすることができます)。 ④画面上の一覧からの選択について

工事場所(工事概要の入力画面)、供給元の住所(建設資材利用の入力画面)、搬出 先場所(建設副産物発生・搬出の入力画面)の住所選択については、項目右方にある [選択]ボタンをクリックすることで表示される、住所検索画面より選択してください (画面-7)。

※画面左上[都道府県]プルダウンより「都道府県」を選択することで、画面中央[市 区町村]リストに該当都道府県の市区町村一覧が表示されます。

※都道府県の選択後、画面右上[(前方一致検索)]記入欄に直接市区町村の頭の文 字(漢字)を入力すると、一覧の中で入力した文字からはじまる市区町村にジャ ンプします。

※該当の市区町村を選択し、画面右下[確定]ボタンをクリックしてください。

<b>国</b> 住所検索		×
都道府県東京都 💌	(前方一致検索)	
市区町村         小住所名           千代田区         中央区           第二         第二           第二	履歴	
	戻る 確定	

画面-7 住所検索画面

発注機関、及びそのほかの調査項目でコード化されているものについては、プルダ ウンより、画面上に一覧を表示し、一覧から選択してください。

※選択した内容を取り消す場合、該当項目にカーソルを合わせ、キーボードの Delete キーを押してください。 ⑤システムによるエラーチェックについて

調査項目の入力内容に矛盾がある場合に、画面にエラーメッセージが表示されます。 エラーメッセージには、必ず修正しなければいけないもの(必須エラー)と、確認 だけを促すもの(警告エラー)があります。

# 必須エラー:修正が必要な項目です。内容の矛盾を修正しなければ、登録を完了す ることができません。必須エラー項目は赤色で表示されます。

- 警告エラー:必ずしも間違いではないが、記載内容について確認が必要な項目です。 内容を確認し内容が正しければ、登録を完了してください。警告エラ ー項目は黄色で表示されます。
- ※エラー項目にマウスカーソルを合わせることで、エラーの内容を確認することが できます(画面-8)。
  - 例: ②搬入利用量(A)は、④②のうち再生資材利用量合計より小さい値が入力 されています。

登錄內容変更								
工事ID 1 厂 削除	フラグ			データチェック				
工事概要建	投資材利用 建設副産	物発生・搬出						
山砂、山土などの新材 土質改良土 建設発生土 浚渫土 建設汚泥処理土 再生エンタリート 木製資材 アスファルト混合物 砕石								
	木	製資材						
		としていた しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しんしょう しんしょ しんしょ						
①建設資材利用量			④②のうち再生資材					
0=@+3	(2) 瓶入利用量(A)	③現場内利用量(B)	利用量合計					
300.0 (トン)	1000 (トン)	200.0 (トン)	<mark>200.0</mark> (トン)					
	② 服入利用量(A)は	(、④②のうち冉生資材利用量 	き合計より小さい値が入力されていま (1日号の内容)	<u>'</u>				
		1712 A 193 A	(加重の)73歳( ) () () () () () () () () () () () ()					
			利用量(丙諒)					
			200.0 (トン)	<u>7U7</u>				
			,					
	利用量·搬出先調查	票 利用量·搬出先調	査票 利用量·搬出先調査	票				
	ブレビュー	印刷(A4横)	印刷(A3横)					
赤字:入力必須	前の	)登録工事へ 次の	登録工事へ	登録作業の完了				

画面-8 エラーメッセージ 例:利用量<再生資源利用量の場合

(2)登録済みデータの変更・削除

登録済みデータの変更・削除の手順は、「メニュー(初期画面)」から「データ登録 (追加、変更、削除)]→[登録済のデータ変更・削除]を選択します。

く検索方法>

- ①[登録済データの変更・削除]を選択すると、「登録済データの検索」 画面が表示され ます(画面-9)。
- ②すべての工事を表示する場合は、[すべて指定無し] ボタンをクリックしてから [検 索] ボタンをクリックしてください。

データを絞り込む場合は、検索条件の項目をプルダウンより指定し、[検索]ボタン をクリックしてください。

条件に該当する工事のみ表示されます(該当する工事がない場合は、「検索条件に 該当するデータはありません。」と表示されます)。

■ 登録済データの変更・削除					
登録済データの変更・削除					
検索条件					
竣工年度 指定無し 👽 年度	工事場所 都道	府県 指定無し	<u>v</u>		
発注機関 大分類 指定無し		町村福定無し		* <u></u>	
17万規  指定無し 工事種類 指定無し ▼	▶ 元「工料の車配曲	±0%  1 <u>∞</u> 4	4 V H I V B D → +	x   99 🗙 🛨   3 🛛	Анаге
				すべて指定無し	<u> </u>
☆索結果→覧				检索件	教・ 2 仕
マーク  <b>1</b> 事ID   年度   発注機関	工事名	工事種類	工事場所	着工	竣工
□ 1 24 個人 全機関	●●邸新築工事	N- 非木新築	東京都 港区	H 24.8.1	H 24.11.30
□ 2 24 組合(土地区画整理組合 等) 全機関	▲▲駅前区画整理工事	F- 土地造成	埼玉県 さいたま市 中央区	H 24. 4. 10	H 24.12.30
	io				
ab ar an 1940   ab an an 2006					
9 ~ C) 25 1/7 9 ~ C   40/7				—————————————————————————————————————	<sup>#</sup> Z

画面-9 登録済みデータの検索(登録済みデータの変更・削除)

<工事の選択>

③検索結果の登録工事リストが表示されますので、変更・削除を行う工事のマーク欄 をクリックして、チェック(レ印)をいれてください(複数選択可)。チェック後、 [確定]ボタンをクリックしてください(画面-10)。

■ 登録消データの変更・削除					
登録済データの変更・削除					
検索条件					
竣工年度 指定無し ▼ 年度	<b>工事場所</b> 都道	府県 指定無し 🕟	7		
発注機関 大分類 指定無し	🔽 区市	町村 指定無し	×		
小分類指定無し	✓ 完了工期の範囲	平成 🛛 🔽 年 🗌	4 🗸 月 🛛 1 🔽 日 から 平原	乾 99 ✔ 年  3 ✔	月 31 🗸 日まで
				すべて指定無し	検索
検索結果一覧					
□   フーク  丁重□   2012年間	丁重交	丁本種類	丁重提所	検索件数 	按: 2件
	●●邸新築工事	N- 非木新築	東京都 港区	H 24.8.1	1 24. 11. 30
2 24 組合(土地区画整理組合 等)全機関	▲▲駅前区画整理工事	F- 土地造成	埼玉県 さいたま市 中央区	H 24. 4. 10 H	1 24. 12. 30
	·				
すべて躍択				戻る	

画面-10 登録工事の選択(登録済みデータの変更・削除)

<登録済データの修正・削除>

④選択した工事の「工事概要」が表示されますので、該当項目を変更してください。 削除する場合は「工事概要」の画面上部の削除フラグにチェック(し印)をいれてください(画面-11)。

⑤前頁③で複数の工事を選択した場合で、データの修正・削除後、次の工事へ移動す る際は「次の登録工事へ」又は「前の登録工事へ」ボタンをクリックしてくださ い。

⑥全てのデータを修正した後、[登録作業の完了]ボタンをクリックしてください。

登錄内容変更		
工事ID 1 「 削除フラ		データチェック
工事概要 建設置	材利用 建設副產物発生·搬出	
発注者       発注機関 (個人       発注機関 (正規関 (詳細)       空標関 (詳細)       担当者       TEL	記入年月日 H. 図 ▼ 年 9 請負会社 (支店名含む) ≪ べ べ べ ※ べ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	<ul> <li>○ 月 25 • 日</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
工事名 工事場所 工事場所 東京都 港区 工事場所 「東京都 港区 工事種類 № 非不新築 工期 (開始)H. 24 ♥ 年 8 ♥ 諸負額 (万単位) ¥12,00 0,000円(	概要	2体工事 入力 50 m <sup>2</sup> ▼
	利用量·搬出先調査票 プレビュー 印刷(A4積) 印刷(A3債)	
赤字:入力必須 春字:入力不可	前の登録工事へ 次の登録工事へ	登録作業の完了

画面-11 登録済みデータの変更・削除

●変更・削除したデータについて

変更したデータは上書きされます。

削除フラグにチェックしたデータは、通常の登録済み工事および工事リスト等の出 カ結果から除外されます(調査票等の印刷もできません)。削除フラグにチェックさ れたデータは、データ登録メニューの[削除データの復元](次頁参照)により元に戻 すことが可能です。

※削除フラグは仮登録データの処理や二重登録してしまったデータの片方を削除 する際に活用する機能です。

#### <u>(3)削除データの復元</u>

削除データの復元の手順は、「メニュー(初期画面)」から「データ登録(追加、変 更、削除)]→[削除データの復元]を選択します。

①データ登録メニューで[削除データの復元]を選択すると、削除フラグのチェックさ れたデータを絞り込むための検索画面が表示されます(画面-12)。

■ 削除データの復元		
削除データの復元		
☆ 検索条件		
竣工年度 指定無見 🗸 年度	<b>工事場所</b> 都道府県間指定無し 🔽	
発注機関大分類指定無し		
17万須 15定無し ↓		
		<u> </u>
検索結果一覧ク	検索件数:	1件
マーク  <b>工事ID</b>   年度   発注機関		竣工
2 24 組合(土地区画整理組合 4 等) 全機関	▲▲駅前区画整理工事 F-土地造成 埼玉県 さいたま市 中央区 H 24.4.10 H 24.1	12.30
すべて選択はすべて解除	戻る	確 定
	· •	

画面-12 削除データの復元の検索

- ②すべての削除工事を表示する場合は、[すべて指定無し] ボタンをクリックしてから [確定] ボタンをクリックしてください。
  - データを絞り込む場合は、検索条件の指定を行い、[検索]ボタンをクリックしてく ださい。
  - 条件に該当する工事のみ表示されます(該当する工事がない場合は、「検索条件に 該当するデータはありません。」と表示されます)。
- ③検索結果の登録工事リストが表示されますので、削除データの復元を行う工事のマ ーク欄にチェック(レ印)をいれてください。チェック後、[確定]ボタンをクリッ クしてください。
- ④復元方法に関するメッセージが表示されますので、内容を確認後、[OK]をクリックしてください(画面-13)。
- ⑤選択した工事の「工事概要」の画面上部の削除フラグのチェック(レ印)をはずし てください。
- ⑥[登録作業の完了]ボタンをクリックしてください。

削除データの復元	
工事ID 2  「 削除フラ 工事概要	<u><u> </u></u>
エ単紙女     「     第注4個     語合(土地区面壁理語     従注個期     語合(土地区面壁理語     従語の)     担当者     TEL	記入年月日 H 24 文 年 9 文 月 25 文 日
工事名 工事場所 工事場所 工事種類 工期(開始)H. 24 ○ 年 4 請負額 (万単位) ¥123,45 0,000円(	工事責任者名       調査票記入者       開除了一夕の復元方法       確認       削除了一夕の復元方法       建築・解体工事       のみ入力       同除フラッグ」を解除して下ざい。       甲除フラッグ」を解除して下ざい。       中除、ワラッグ」を解除して下ざい。       市       商品       ご       の次       のの次       のかり、       の次       の次 <th< th=""></th<>
赤宇:入力必須 書字:入力不可	利用量・撥出先調査票     利用量・撥出先調査票       ブレビュー     印刷(A4横)       前の登録工本へ     次の登録工本へ

画面-13 削除データの復元

(4) 重複データのチェックと削除

重複データのチェックと削除は、間違って同じ工事を登録してしまった場合や、同 じ工事データの入った提出用ファイルをインポートしてしまった場合などに、重複デ ータの候補を表示し、重複データを容易に無効化(削除フラグにチェック)できる機 能です。

重複データのチェックと削除の手順は、「メニュー(初期画面)」から「データ登録 (追加、変更、削除)」→[重複データのチェックと削除]を選択します。

- ①データ登録メニューで[重複データのチェックと削除]を選択すると、「重複条件選択メニュー」画面が表示されます(画面-14)。
- ②重複条件は、完全に一致するものと、条件の厳しいものから緩いものまでの3段階があり、また、すべての工事を表示することができます。条件を選択して[検索]ボタンをクリックしてください(各条件選択ボタンをクリックすると、重複条件の項目が説明されます)。

国 重複工事検索画面:フ	4-7				
重複デー会	タのチェックと削除	重複条件の言	说明		
抽出条件 ・ 重複条件(策) ・ 重複条件(年) ・ 重複条件(紙) ・ 重複条件(紙) ・ 重複条件(紙) ・ 重複条件(紙) ・ 重複条件(紙)	【重複条件(厳)抽出条件】 ・工事名 ・発注機関ロード ・住所コード ・正事種別ロード ・請負額 ・工期終了年月日 のすべての項目が重複するデー	-タ(削除データ <b>び</b> 余く)			検索
─検索結果一覧──					検索件数: <u>2</u> 件
削除フラグ   工事ID	工事名	発注機関	発注担当者	着工   竣工	工事場所
	●●邸新築工事	個人 全機関		H 24.8.1 H 24.11.	東京都 港区
2	▲▲駅前区画整理工事	組合(土地区画整理組合 等) 全機関		H 24. 4. 10 H 24. 12. 30	埼玉県 さいたま市 中央区
٢					
					戻る 削除

画面-14 抽出条件選択メニュー

③条件にあった重複工事候補のリストが表示されるので、重複している工事のうち、 削除するデータの[削除フラグ]欄にチェック(レ印)をいれて[削除]ボタンをクリッ クしてください(画面-15)。なお、データを修正する必要がある場合は、修正方 法等については、13頁を参照。

重 重複工事検索画面:	フォーム							
重複デー	タのチェックと削除							
抽出条件        ・重複条件(策)     ・重複条件(策)       ・重複条件(援)     ・重複条件(援)       ・重複条件(援)     ・重複工事       ・全データ表示	【重複条件(厳)抽出条件】 ・工事名 ・発注機関コード ・仕所コード ・工事種別コード ・諸負額 ・工期終了年月日 のすべての項目が重複するデ	一夕(削除データを除く)					検索	
一検索結果一覧						检索件	数: 2件	
	工事名	発注機関	発注担当者	着工	竣工	12.7611.	工事場所	-
	●●邸新築工事	個人 全機関		H 24.8.1	H 24.11. 30	東京都 港区		
	- 久駅前区画整理工事	組合(土地区画整理組合 等) 全機関		H 24. 4. 10	H 24.12. 30	埼玉県 さい	たま市 中央区	
<							8	
						戻る	削除	

# 画面-15 重複工事リスト

3.3 利用量・搬出先調査票印刷

利用量・搬出先調査票印刷の手順は「メニュー(初期画面)」より、 [利用量・搬 出先調査票印刷]→[利用量・搬出先調査票印刷](画面-16)から工事を1件選択→ [プレビュー]ボタンクリック→[印刷]画面(画面-17、画面-18)となります。

※本印刷機能は、工事1件のみとなります。複数工事の印刷はできません。

※お使いのプリンタによって、印刷設定(用紙の選択、余白設定など)を行う必要が あります。

※Accessの印刷機能([メニュー]→[印刷])は、使用しないでください。

- ①[メニュー(初期画面)]より[利用量・搬出先調査票印刷]ボタンをクリックすると、 [利用量・搬出先調査票印刷]画面(画面-16)が表示されます。
- ②すべての工事を表示する場合は、[すべて指定無し] ボタンをクリックしてから [検 索] ボタンをクリックしてください。
  - データを絞り込む場合は、検索条件の指定を行い、[検索]ボタンをクリックしてく ださい。

条件に該当する工事のみ表示されます(該当する工事がない場合は、「検索条件に 該当するデータはありません。」と表示されます)。

- ③検索結果の登録工事のリストが表示されますので、利用量・搬出先調査票印刷を行う工事の[マーク欄]にチェック(レ印)をいれてください(1工事のみ)。チェック後、[プレビュー]ボタンをクリックしてください(画面-17、画面-18)。
- ※[印刷(A4横)]または[印刷(A3横)]ボタンをクリックした場合は、プレビュ ーを表示せずに直接プリンタに印刷されます(用紙はボタンに表記されている用 紙サイズで印刷されます)。

	<sup>■</sup> 利用量·機出 利	¦先調査 用量・	票印刷 搬出先調	查票印刷							
	□ 検索条件 竣工年度 発注機関 工事種類	大分類	指定無し ▼ 指定無し 指定無し 指定無し	′年度 ▼	× ×	工事場所 都道 区市 完了工期の範囲	ឆ向県 指定無し 、 町村 指定無し 平成 [1 ☑ 年 [	▲	▼ 1 ▼ 日 から 平F	ሺ <mark>99 ▼</mark> 年 3 <b>、</b> すべて指定無し	<ul> <li>月31 ▼ 日まで 検 索</li> </ul>
- /	検索結果 マーク 1 ビ	一覧- 査票の 事ID <sup>1</sup> 2	<b>印刷は、1</b> <u>東</u> <u>東</u> <u>24</u> <u>24</u> 個人 全観 24 組合(土地 等) 全棚	<b>L 事のみ 選</b> 掛 注機関 調 区画整理組合 関	く <mark>可能です</mark> ●●邸新築 ▲▲駅前区i	。 工事名 工事 勤整理工事	<u>工事種類</u> <mark>N- 非木新範</mark> F- 土地這成	<mark>東京都</mark> 埼玉県	工事場所 潜区 さいたま市 中央区	検索件 <u>着工</u> H 24. 8. 1 H 24. 4. 10	数: 2件 竣工 H 24.11.30 H 24.12.30
					 ブレ	੯ <u>-</u> – ₽	刷(A4横)	印刷(A	3横)	戻る	

画面-16 個票印刷の選択

④[プレビュー]ボタンをクリックすると画面上で「利用量・搬出先調査票」を確認で きます(画面-17、画面-18)。

「利用量・搬出先調査票印刷」画面に戻るには、「利用量・搬出先調査票」画面右 上の[×]ボタンをクリックしてください。

⑤[印刷]ボタンをクリックし、印刷してください。印刷が終わりましたら、「利用量・ 搬出先調査票印刷」画面(画面-16)の[戻る]ボタンをクリックして「メニュー (初期画面)」に戻ってください。

L VB-Report Viewer									🕳 📢 🗛	88 <b>8</b> 88 8	-	E 08
● 印刷(P)		<ul> <li>」 「通問しる(C)</li> </ul>					_	_	_			$\succ$
樹式1 1.工事概要 ■ ■ P6-mil	ነፃነ <b>ህ. ጄኦታ <b>ጋይሟ</b>ታል ሃደዊ ለ<sub>ማ</sub></b>	<sup>〒式244##3600mth#358mm</sup> 利用量・搬出	先調査票(利用	■ 量調査)	・ボタンを	押して、	この画	面を閉	じ、前 	の画面	に戻る	
이프에 그는 IPE	7 9 0 8	0 0 <del>10248</del> TEL		議員会社名 余社新在地		10. FR.	123,47,80 244,52 244,52 244,52	H 24 27 3	月 25 日			
382 19	●●邸新築工	事 [1]		2894458 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	и и и и и и и и и и и и и и и и и и и		80.000 A	* 5 5 <u>F 5</u> 1 2 1	5 0 at			
1462-287	1   3   1	0   3   N -	© tristers	그래 푸명 24	本 11 月 30 8gで <sup>8</sup> 土質収真土、建設	線に記入して下さい 男士主尊を利用した場合	10000000000000000000000000000000000000	は上 とに関する情報を	↑2 ↑2用 、供給元ごとに変	2		
14232411 5 15		建設设有利用量=-成入利用量(A)+深圳内利用	E(0)		さいな入利用量(A)のうち、例	R2014国際以上の心理会 出元約7款	は、木関重素をつけ	-LTBALT	231.0.	-		
		<b>載</b> 3.5	μ <b>μ</b> (Δ) (8)	NEADINE (8)	「個3.5日間間(A)3656。 (約8元気即用量	(04%)号信斯 (2五新コード)	(442号4244)〜ド (注当すび(442号44 (注当すび(442号44 (注)の工事 (注) (月10) (月	した「O」を1つだけ開 の工事 再変現た N の記 同 の の の の の の の の の の の の の	私ご下さい) 1日 パッパート	8		
主要 山歌、山主などの新	村(街駅土、)編入土)	Beng	aborn1									
土管約費土(土管約 (第1)種一番4種和5 種類於生土	8ブランドからの読入士) (土)	Sec. 1	iitimi		2億利 2億初 2億和 1億約, 100	Meters3 Meters3 Meters3 Meters3 1 3 1 0	1					
(第1届~集4届) 武武士	89注土、説見土以外の肥土)	600.0 Metrod	600.0 Merent		2進約 2000 2001 2000 12150 2001 2000	Materia 0 1 1 0 Materia 4 0 1 3 Materia Materia Materia	2		<u> </u>			
編設75年尚理士 (第11編~第4編集号	(±)	Mitra3 Mitra3	Matani Matani	24- 24-	143 2単語  単語]  2単語]  443	BitonG BitonG BitonG BitonG						
再生コンクリート9   ほわませてた			Hen Hen		/進租 /漢租 /運租	Maturis Maturis Maturis						
		EX.P		6、黄李麗和和同會	現現政府用量(8)			_				
ミュンクリート コンクリート構成主義 を用いたモニンクシ	ың н ->	82						A				
コンクリード代表を を用いたまコンクリー コンクリード代表を	-> #1L	P4				_						
を用いたまコンクシ 1283月のオコンク (時期を含む)*200	-r ಗೊತ್ತಿರು	P2					R	府統計	-			
720 <b>4</b> H		400.0 12/2	200.0 >>	200.0	P2 2000	P2	-07-	クは、統計表示	<b>₽</b> -7×			
7.7.7パレ電台機 発音		P2	P2		14	~~	国の統領	ば随であること				
<ul> <li>記ざい</li> <li>記ざいづからから</li> </ul>							の保全に	っていて2000度原作 「万全を期すこと	あるの思想			
		<i>a</i> 3	mű			<i>a</i> 3	9 200	C9.				
M·推 利田曼·脱州朱丽香要素												

画面-17 利用量・搬出先調査票(利用量調査)



画面-18 利用量・搬出先調査票(搬出先調査)

#### 3.4 登録工事一覧表印刷

登録工事一覧表印刷の手順は「メニュー(初期画面)」より、[登録工事一覧表印刷] ボタンクリック→[登録工事一覧表印刷]画面(画面-19)から工事を選択→[プレビ ュー]ボタンクリック→[印刷]画面(画面-20)となります。

- ※お使いのプリンタによって、印刷設定(用紙の選択、余白設定など)を行う必要が あります。
- ①[メニュー(初期画面)]より[登録工事一覧表印刷]ボタンをクリックすると、[登録 工事一覧表印刷]画面(画面-19)が表示されます。
- ②すべての工事を表示する場合は、[すべて指定無し] ボタンをクリックしてから [検 索] ボタンをクリックしてください。
  - データを絞り込む場合は、検索条件の指定を行い、[検索]ボタンをクリックしてく ださい。
  - 条件に該当する工事のみ表示されます(該当する工事がない場合は、「検索条件に 該当するデータはありません。」と表示されます)。
- ③検索結果の登録工事リストが表示されますので、登録工事一覧表印刷を行う工事の [マーク欄]にチェック(レ印)をいれてください(複数選択可)。チェック後、[プ レビュー]ボタンをクリックしてください(画面-20)。

※[登録工事一覧リスト]は登録済み工事の工事概要の一覧表です。

- ※[印刷(A4横)]ボタンをクリックした場合は、プレビューを表示せずに直接プリンタに印刷されます。
- ④ [プレビュー] ボタンをクリックすると選択した工事の「登録工事ー覧リスト」を 確認できます(画面-20)。
   「登録工事ー覧表印刷」画面に戻るには、「登録工事ー覧リスト」画面右上の[×] ボタンをクリックしてください。
- ⑤画面左上の[ファイル]より[印刷]ボタンをクリックし、印刷してください。印刷が 終わりましたら、「登録工事ー覧表印刷」画面の[戻る]ボタンをクリックして「メ ニュー(初期画面)」に戻ってください。

图 登錄工事一覧表印刷					
登録工事一覧表印	刷				
☆ 検索条件					
竣工年度	工 <b>事場所</b> 都道	府県 指定無し 👔	~		
<b>発注機関</b> 大分類 指定無し		町村指定無し	×		
小分類  指定無し	マ 一 完了工期の範囲	平成   1 🔽 年	4 🗸 月  1 🔽 日 から 平原	┆ 99 ✔ 年  3 ✔	月 31 🗸 日まで
				すべて指定無し	
─ 検索結果一覧				检索(4)	it//+
	<b></b>		一一一十月記	(現本)[13	
		<u>↓</u> 争俚想 N- 非木新築	東京都 港区	相上 H 24. 8. 1	H 24. 11. 30
2 24 組合(土地区画整: 等) 全機関	理組合  ▲▲駅前区画整理工事	F- 土地适成	埼玉県 さいたま市 中央区	H 24. 4. 10	H 24. 12. 30
すべて選択 すべて解除	プレビュー 印	刷(A4横)		戻る	



登録工事一覧リスト     Dutzehown Back       1     小様の、ためば     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1 <th>  124年後、観話開始教史認知会、利用書・開出先期合美入力システム (登録上<del>生・</del>取りスト) コーファ(194) - フィント(200) - ヘルズ(ー) Addo PUL(ニ)</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>首都を入りしていたい</th> <th>(# ×</th>	124年後、観話開始教史認知会、利用書・開出先期合美入力システム (登録上 <del>生・</del> 取りスト) コーファ(194) - フィント(200) - ヘルズ(ー) Addo PUL(ニ)					首都を入りしていたい	(# ×
登録工事一望リスト       Data <u>         1         1         1         </u>			×ボタンを押し	て、この画面を	閉じ、前の画面	言に戻る	
ISC         MR         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M         M		登録工事一	覧リスト		2012年9月26日 日本		
	工業C 上成 説 時代 名 1 24個人 生活成 2 4月から11月10日の時間の分割)の開始		,2 N-	工事編派 工 事 歳 孫 かん教法 使克部 准区 + Main (1995年) 中国日	Image:		
			r-		Tates o Jaco 1.00		
					1.1.1.1.17		
					1/1~~~		

# 画面-20 登録工事一覧リスト

#### 3.5 提出用ファイルの作成

H24センサス入力システムに登録したデータをCD-R等に記録できます。 提出用ファイルの作成は「メニュー(初期画面)」より、[提出用ファイル作成]→[登録済データの検索]→[登録工事リスト]→[提出用フォルダの指定]となります。

- ①「メニュー(初期画面)」から[提出用ファイル作成]を選択すると、「登録済デー タの検索」画面が表示されます(画面-20)。
- ②すべての工事を表示する場合は、[すべて指定無し] ボタンをクリックしてから [検索] ボタンをクリックしてください。
  - データを絞り込む場合は、検索条件の指定を行い、[検索]ボタンをクリックして ください。条件に該当する工事のみ表示されます(該当する工事がない場合は、 「検索条件に該当するデータはありません。」と表示されます)。
- ③検索結果の登録工事リストが表示されますので、出力する工事の[マーク]欄をク リックして、チェック(レ印)をいれてください(複数選択可)。チェック後、[確 定]ボタンをクリックしてください。

■ 提出用ファイル作成						
提出	出用ファイル 作成					
─ 検索条件 ────						
竣工年度	指定無し 🗸 年度	工 <b>事場所</b> 都道。	府県 指定無し 🕟	ন		
<b>発注機関</b> 大分類	指定無し	区市	町村指定無し	×		
小分類	指定無し   指定無し	✓ 完了工期の範囲	平成  1 ✔ 年	4 •• 月  1 •• 日から平原	又 99 🔽 年  3 🔽	月31 1日まで
					すべて指定無し	
一 検索結果 覧 -	-ク				46年(4)	
「マーク」「事ID」	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	丁事名	丁本種類	丁事場所	(東茶)千: (東京)千: (東京)千:	設:  21年 
	24 個人 全機関	●●邸新築工事	N- 非木新築	東京都 港区	H 24. 8. 1	H 24.11.30
2	24 組合(土地区画整理組合 等) 全機関	▲▲駅前区画整理工事	F- 土地造成	埼玉県 さいたま市 中央区	H 24. 4. 10	H 24. 12. 30
すべて選択 す	べて解除				戻る	

画面-20 提出用ファイル作成

④「提出用ファイル名を指定してください」画面で「提出用ファイル」の保存先とフ ァイル名を入力して、[開く]ボタンをクリックしてください(画面-21)。

国 提出用ファイル作成					
提出	用ファイル 作成				
検索条件			•		
峻工年度 <b>発注機関</b> 大分類 小分類 工事種類	指定無し ▼ 年度 指定無し 指定無し 提出用ファイル名を指	▼ マ 定してください。	<b>工事場所</b> 都道府県 指定無し <u>▼</u> 区市町村 指定無し 完了工期の範囲 平成 1 <del>▼</del> 年 4 <del>▼</del> 月 1	▼日から平成199 ▼年 3 ? ■	<mark>▼月31 ▼</mark> 日まで 検 衆
<ul> <li>- 検索結果一覧</li> <li>- マーク 工事ID 年</li> <li>▼</li> <li>▼</li> <li>1</li> <li>2</li> </ul>	7Fイルの場所で: 最近使った7Fイル デスクトップ マイドキュメント マイコンピュータ マイネットワーク	●新しいフォルダ ウィイル名(N):	▲ ● ■ ○ 保存先を指定 ファイル名を入 ○○建設民間工事		+数: 2 件 <u>發工</u> H 24.11.30 H 24.12.30
すべて違択(すべ	て有物象	, 1967 Ext	」といい、パイストレート 「読み取り専用ファイルとして閉く( <u>R</u> )		確定

画面-21 提出用ファイルの保存先とファイル名の指定

⑤「提出用フォルダの指定」画面に戻りますので、保存先とファイル名を確認して、 [確定] ボタンをクリックしてください。

ファイルが作成され、「メニュー(初期画面)」に戻ります。

なお、提出ファイル名をつけるにあたって、<u>出力先のフォルダに同名の提出用ファ</u> イルが存在するとデータは上書きされますので、ご注意ください。

また、提出用ファイルと同じ保存先に [ファイル名].txt ファイルが作成されます ([ファイル名] は上記④で入力したファイル名が入ります)。[ファイル名].txt に は、提出用ファイルのファイル名、ファイルサイズ、作成日時、登録件数が記録され ていますので、提出用ファイル作成時の確認等にご利用いただけます。

ファイルを発注者や協議会等へ提出する際は、CD-R等の電子媒体にファイルを コピーしてください。 3.6 ファイルインポート(複数の提出用ファイルを結合)

「ファイルインポート」機能で、[提出用ファイルの作成]で作成した「提出用ファ イル」のデータを取り込むことができます。

これにより、<u>複数の「提出用ファイル」を1つのファイルにとりまとめる</u>ことができます。

ファイルインポートの手順は、「メニュー(初期画面)」より、[ファイルインポート]→[インポートファイルの指定]となります。

<u>(1)ファイルインポート</u>

結合する提出用ファイルが入ったCD-Rなどの電子媒体をドライブに挿入して、 提出用ファイルをデスクトップ等へー旦コピーしてください。その後、「メニュー(初 期画面)」より[ファイルインポート]をクリックしてください。

 ファイルインポート(ファイル取り込み)」画面が表示されますので、「登録済 データの最後尾にインポート」、「登録済データ全削除後、インポート」のいずれ かを選択してください(画面-22)。

ファイルインボート(ファイル取り込み)	
ファイルインポート(ファイル取	り込み)
インボート 履歴	
インボート日時 ファイル名 ▶ 12/09/26 024741 test.lzh	インボート件数:     1 件       サイズ     作成日時     登録件数       1382/バイト     12/09/26     0247:00     1件
- インボートファイル指定	選択
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○ 登録済データ全削除後、インボート クリーッ
ファイル名の指定:	●照 ●
	展る」確定

画面-22 ファイルインポート

② [参照] ボタンをクリックして、「提出用ファイル名を指定してください」画面で インポートする提出用ファイルを指定してください(画面-23)。

ファイルインプ	ポート(ファイル取り)	<u>1</u> 75)		
ファイ	イルインポート	・(ファイル取り込み)		
- インボ	ト履歴 ────		インボート件数:	1 (4
提出用ファイル名を	指定してください			2 🛛
ファイルの場所の	🗀 新しいフォルダ			
3		1411		
最近使ったファイル				
デスクトップ				
21 K+1X21				
₹1 <u>⊐</u> ンピュータ				
マイ ネットワーク	ファイル名(N):	〇〇建設民間工事.lzh	Ţ	開(())
	ファイルの種類(工):	圧縮ファイル(*.lzh)	•	キャンセル
		□ 読み取り専用ファイルとして開く	(B)	

画面-23 インポートファイル名の指定

 ③取り込む「提出用ファイル」を選択して、[開く]ボタンをクリックしてください。
 ④ [確定]ボタンをクリックしてください(画面-22)。
 ⑤確認のメッセージが表示されますので[はい]を選択してください。
 ※過去にインポート済みの「提出用ファイル」については、データ重複を避けるため、 データ追加型のインポート方法ではインポートできない仕様となっています。 (2) インポート履歴

ファイルインポートした内容(インポート日時、ファイル名、サイズ、作成日時、登録件数)を確認することができます。

①「メニュー(初期画面)」より[ファイルインポート]をクリックしてください。

②「ファイルインポート」画面が表示され、インポート履歴がリスト表示されますの で、内容を確認してください(画面-24)。

ファイルインボート(ファイル取り込み)
ファイルインポート(ファイル取り込み)
インボート履歴     インボート件数:     1       インボート日時     ファイル名     サイズ     作成日時       12/09/26     024741     test.lzh       12/09/26     024741     test.lzh
インボートファイル指定
○ 登録済データの最後尾にインボート ○ 登録済データ全削除後、インボート
ファイル名の指定: 参照
医る 確定

画面-24 インポート履歴

③[戻る]ボタンをクリックすると、「メニュー(初期画面)」に戻ります。

4. 提出用ファイルの構成

[提出用ファイルの作成]を実行すると、指定したフォルダに[ファイル名].lzh というLHA形式の圧縮ファイルと[ファイル名].txt が作成されます([ファイル名]は提出用ファイル作成時につけたファイル名となります(「3.5 提出用ファイルの作成」参照)。

ファイルの提出及び回収したファイルのインポート(「3.6 ファイルインポート」参照)は、圧縮されたこの形式で行います。

このファイルを解凍すると、CSV(カンマ区切り)形式ファイルが6個、及びフ ァイル情報、登録件数等が記載されたテキストファイルが作成されます(解凍するに はLHAを解凍するためのソフトウェアが必要です)。CSVファイルは、登録工事 データの固有情報、工事概要、建設資材利用、建設資材利用内訳、建設副産物発生、 建設副産物搬出のデータのファイルであり、各ファイルの1列目にある[工事 | D]で 関係付けしています。

ファイル名	内容
EE_01.CSV	登録工事データの固有情報
EE_02.CSV	工事概要のデータ
EE_03.CSV	建設資材利用のデータ
EE_04.CSV	建設資材利用内訳のデータ
EE_05.CSV	建設副産物発生のデータ
EE_06.CSV	建設副産物搬出のデータ
***.txt	*** の部分には保存ファイル名と同一のものが入る。

作成されるCSVファイルの内容は、次のとおりです。

5. よくある問い合わせ

- Q1.エラーメッセージが表示されてインストールすることができません。
- A1.インストール時に Windows にログインしているアカウントが、管理者権限を持っているアカウントである必要があります。ログインしなおした後に、インストールをお試しください。
- Q2.CREDAS入力システムがインストールされているのですが、H24センサス 入力システムをインストールする前に削除する必要はありますか。
- A2.CREDAS入力システムを削除する必要はありません。

Q3.計画時のデータは作成する必要はありますか。

- A3.H24センサス入力システムは、H24センサスにおける「実績調査」を行うた めのシステムであるため、計画時のデータは作成する必要はありません。実績デ ータのみ作成してください。
- Q4.CREDAS入力システムで作成したデータの取り込みはできますか。
- A4.CREDAS入力システムで作成されたデータを、H24センサス入力システム に取り込むことはできません。

以上